

【車内調教】「お前の身体が売り物になるか、確かめているだけだ」
～車内で心身を徹底的に屈服させられる、ヤクザの強制調教～

サンプル（一部抜粋）

「...深夜にコンビニにアイスを買いに行くなんて、随分呑気なクズだな。」

（ぎゅっと腕を掴む音）

「おっと。逃げようとするなよ。
追いかけるだけ、時間の無駄なんだよ。」

（コツッと一歩近づく高級そうな革靴の音）

「...借りた金を返さずにアイスか。いいなあ。
...こそこそと逃げ回って姑息な女だな。」

「...何をキョトンとしてる？何が出来るか聞いてんだよ。
お前が普通に働いて、普通に金を返すなんて...出来ないんだから。」

「.....」

（バンッと車の窓ガラスを手で叩き、脅すような音）

「...往生際が悪いな。
俺が優しく言ってるうちに、言う事を聞いておくべきだったな。」

（強引に女性のシャツを引きちぎる音）

「...へえ。案外綺麗な身体、してんだな。
肌が真っ白だ。
まあ...引きこもって家から出てないんだから、当然といえば当然だが。」

「クリトリスも勃起させて...。
分かるか？俺の指がお前のクリトリスをなぞる度に、コリコリしてるのが。
擦る度に勃起させやがって...一回、イっておくか？」

「...ん？イきたくないのか？」

「へえ。そうか。イきたくないのか。
（小馬鹿にしたようにクスクス笑う）じゃあ...イかないように頑張れ。」

（くにゅくにゅと激しくクリトリスを指で刺激する音）

「（耳元で囁く）そんなに息を乱して...可愛い声を出して、どうした？
イきたくないんだろう？じゃあ、もっと我慢しろ。
自分の言葉には、ちゃんと責任を持たないとな。」